

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	災害時血液製剤供給確保事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	血液対策課		課長 三宅 智	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名	施策目標：I-7-1 健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針 (平成20年6月6日厚生労働省告示第326号) 東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	災害時においても、国の責務である血液製剤の安定供給の確保を行える体制整備を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	血液製剤の供給を担っているブロック血液センターでは血液等の保存用施設への電力が確保できる規模の非常用電源しか設置されていないことから、停電時には血液の検査・製剤化施設が使用できず、災害時の血液製剤の安定供給に支障が生じるため、震災等の災害発生時に血液製剤の供給拠点となる重要度の高いブロック血液センターに対して、検査・製剤化施設へも電力を供給できるように非常用電源を強化するための施設整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					486
		補正予算					
		繰越し等					
		計					486
		執行額					
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	停電時でも血液の検査、製剤化及び保管が行えるブロック血液センターの数	成果実績	箇所	-	-	-	4
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ブロック血液センターを対象とした非常用電源の整備に対する補助の数	活動実績 (当初見込み)	箇所	-	-	-	-
				-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	ブロック血液センターを対象とした非常用電源の整備に対する補助にかかるコスト 162(百万円/箇所)		算出根拠	(A)486百万円 ÷ (B)3箇所 = 162百万円 A = 血液製剤安定供給施設整備費補助金 B = 補助対象となるブロック血液センターの箇所数 (平成25年度の活動見込み)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	血液製剤安定供給施設整備費補助金	0	486	災害時血液製剤供給確保事業の予算の新規要求による増			
	計	0	486				

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	災害時の血液製剤の安定供給の確保は、国民の生命を守るために必要であり、優先度の高い事業である。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	血液法の国の責務に基づき実施する事業である。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名		—
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	医療に必要不可欠な血液製剤を災害時においても安定して供給することは、国民の生命を守るために必要であり、血液法における国の責務である血液製剤の安定供給の確保を行うためにも重要であることから、本事業の優先度は高く、国が実施する必要がある。			
予算監視・効率化チームの所見				
	本事業は、災害時に血液製剤の安定供給を図るため、拠点となる血液センターの体制整備を行うものであり、優先度の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
	—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				
	—			
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					